

宮崎公立大学
Miyazaki Municipal University



MMUニュース・レター

第20号・夏

卒業式を終えて中庭で記念撮影に臨む第8期卒業生たち。



就職対策について思うこと

学長 浜野 崇好



平成16年3月末現在の第8期生の就職率は、93%になり、何とか開学以来続けている90%以上の就職率を維持することが出来ました。長引いた不況の影響で新卒者の就職は氷河時代とも言われてきただけに、就職対策に苦労を重ねてきた教職員一同、ほっと胸をなでおろしているところです。しかし、来春卒業生の就職戦線は既にたけなわとなつており、一休みというわけにいきません。

日本経済全体としては、ようやく回復の方向が出て来ましたが、この景気回復はどちらかと言えば、大企業・製造業が引っ張っており、雇用情勢は、今のところ小幅な改善にとどまっています。アメリカでよく言われる「雇用なき回復」になるおそれもあり、油断は禁物です。

本学は、教育と研究に就職を加えて、この3本柱に力を注いでいます。ある企業経営者に「大学の就職は企業の売上高に匹敵する」と言われたことがあります、まさにその通りだと思います。私は本学に着任して以来9年間、一貫して就職対策委員会の業務に携わってきました。昨年度から学長を委員長とし、全教員が一般企業等、教職、公務員の3分科会のいずれかに属する形で全員、就職対策委員会のメンバーになるという総力体制をとっており、これまでの対策を検証しながら、より効果が挙がるように心がけてまいります。

学生諸君も、自分は何をしたいのか、何が自分の「売り」になるのか、志望している就職先について、上滑りでなく、よく研究しているか、競争の激しいところを狙うときは、万全の準備をしているか等をよく考えて下さい。本学は就職にも自分でしっかりした戦略を立てる学生を積極的に支援していきます。

●宮崎公立大学MMUニュース・レター 第20号——[目次]
平成16年(2004)年・夏

就職対策について思うこと……… 学長 浜野 崇好 2
問い合わせる人間となれ!……… 学部長 玉木 徹志 2
〔就職〕第8回卒業生は公立大の伝統を継承発展させ
就職率は93.0%…………… 3
〔演習Ⅲ・Ⅳ公開〕私たちのゼミ紹介します⑯…………… 4
ニコルゼミ〔American Studies〕／山口ゼミ〔政治学演習〕／金子
ゼミ〔情報科学演習〕／加藤ゼミ〔教育心理学演習〕／竹野ゼミ〔オ
ーラル・コミュニケーション演習〕／下ゼミ〔言語習得と学習演習〕

問い合わせる人間となれ!

学部長 玉木 徹志



新入生の皆さん、宮崎公立大学へのご入学おめでとう。

皆さんは希望を持って本学に入学し、これから4年間、実りのある学生生活を送ろうとしています。

大学での皆さんは、これまでのように教師や親の手厚い保護と指導の下で勉強する「生徒」ではなく、自主的、自発的に学修する「学生」となるのです。大学とは何よりも「自発的、内発的な問い」を発するところであり、これまでのように、他から与えられた問いに受動的に答えるものではありません。受験で与えられる問いは答えは一つであることが要求されますが、自ら考え、発する問いの答えは単一ではありません。学問をするということは、自発的に人生や世界に向けて問い合わせを発し、自分自身の答えを探求することあります。学生であるということは感受性豊かな時期で、競争試験や職業・労働に追われるよりも少ない、人生のなかで最も自由が享受できるつかの間の瞬間です。身のすり減るような情熱をもって勉強していただきたいと願っています。

本学はリベラル・アーツ教育で人間対人間の真剣な問い合わせ、切磋琢磨を通じて、世界に通じるグローバル・リーダーを育成し、総合力をそなえた専門家として皆さんを送り出すことを「教育理念」としてきました。これに基づく卒業生は国内外で幅広く活躍しています。この4月に刊行した開学10周年記念誌「凌雲」に詳しく紹介しています。今年入学の皆さんから、新しいカリキュラムを採用して、さらに充実した大学生活が送れるように整備しました。自分が選ぶ学間に、社会に、地域に、そして世界に「問い合わせ」を発信しつつ、自ら回答を見つけていって下さい。私たちはいつでも手助けいたします。

〔卒業式〕第8期生197名に卒業証書・学位記を授与……… 6
人々のために働き恩返しを…………… 中竹 仁 7
Waikato大学で学んだこと…………… 村上 純子 8
広大な自然の中での一年間…………… 那須 智子 8
「新しい関係」を…………… 加藤 総子 9
日本人の顔をした韓国人…………… 山口 愛弓 9
事務局だより…………… 10
教職員人事／上半期行事予定／図書館から／保健室から
／学生相談室から／財団助成金申請一覧…………… 11
〔入学式〕桜の花が舞う4月6日、
第12期生220名が入学…………… 12

第8回卒業生は公立大の伝統を継承発展させ就職率は93.0%

就職活動は、これまで早期化・長期化が進んできましたが、ここに来て採用側に早期の採用活動を自粛する動きも見られるようになりました。景気は回復基調にあると言われていますが、企業の新卒採用数が減少するなど、採用試験における厳選採用傾向に変化はなく、雇用環境は引き続き厳しい状況にあります。

本学では、こうした状況に対応し、学生の就職活動等をきめこまかに支援するため、一般企業等、教職、公務員の3分科会を設置して全教員を配置するなど、就職対策委員会に基づいた教職員の支援体制を強化しました。

第8回卒業生は、就職ガイダンスや面接試験対策講座等の大学の支援事業を効果的に活用するとともに、自らも精力的に活動し、次々に好結果を出しました。一部に苦戦する学生もおりましたが、大学の粘り強い指導・助言に誠実に応え、大部分の学生が卒業後の進路を決定することが出来ました。最終的に93.0%の就職率を確保し宮崎公立大学の伝統を継承しました。

《夢と希望のある充実した学生生活を送ろう。》

大学では、学習の内容や方法、余暇時間の活用方法等、自ら考え決断することが求められ、その結果に責任を持たなければならないのです。

就職企業一覧

宮 崎 県 内		九 州 内		九 州 外	
宮崎県警察本部	コスマス薬品	ライジンシャ	北鉄航空		
自衛隊曹候補生	ひむか薬局	スズキ自販長崎	ポンズ		
宮崎県教員	テヅカ	ステップ	喜鋒会		
日向学院	キヨナガ	ハウステンボス	たけうち東海		
鵬翔高等学校	ながやま	熊本平安閣	朝日ガス		
日章学園(事務)	日伸洗車機南九州販売	亀井	PAL		
日南学園高校	デンサン	ジョイフル	アバユアーズ		
JA信連	システム開発	日本興亜火災	エーエヌエースカイパル		
JA共済宮崎県本部	(財)身体障害者小規模通所授産施設CADセンター	タイヨー	コスマス薬品		
JA宮崎中央	セレモニー宮崎	いわさきグループ	専修学院		
JA都城	シェラトントリゾート	鹿児島ダイハツ	慈慶学園グループ		
宮崎県医師会	クレイトンハウス	ペインター川崎	向学社		
宮崎銀行	長友総研		ホンダクリオ鳥取		
宮崎太陽銀行	雇用促進事業会		トヨタカローラ徳島		
高鍋信用金庫	宮銀スタッフサービス		インターナカツ		
日興コーディアル証券	昂		穴吹工務店		
朝日生命	栄進教育開発				
東京海上火災保険	戸崎病院				
日本興亜火災	中村ナーサリー				
あいおい損保					
旭有機材工業					
ホンダロック					
タケセン					
米良電機産業					
終木工所					
ノエビア					
アルファイン					
日本サプライヤー					

みなさんは、これから的学生生活で将来の人生設計を思い描いて行くことになります。「現在は何でもあるが、ないのは夢と希望である」と言う人もいます。この4年間でそれぞれの夢と希望を見つけて確かなものにしてほしいと思います。そして、それに向かって目標を設定して学生生活を送ってほしいものです。そうすることで学生生活は充実したものになり、就職、進学等、目標が実現する可能性はより高くなるでしょう。

学習にクラブ活動に趣味に一生懸命取り組み、エンジョイしてください。みなさんの飛躍を期待します。

気軽に『就職相談室』に足を運んでください。

第8回卒業生の就職結果(総括表)

	全 体	宮 崎 県 内	
就職希望者 (人)	143	男 28 女 115	78 女 63
就職内定者 (人)	133	男 28 女 105	74 女 59
就 職 率 (%)	93.0	男 100 女 91.3	94.9 女 93.7

[演習Ⅲ・Ⅳ公開] 今年は35ゼミが開講。多彩な内

アメリカの文化と歴史を

ヒュー・ニコルゼミ [American Studies演習]

American Studies演習では、アメリカの文化と歴史をアメリカ文学や講義、映画、音楽、芸術を通じて学習しています。できるだけ多くの作品に触れることで、様々な角度からアメリカについて考えることができるようになります。

ゼミの中では、英語のリーディング力、書く力に重点を置きつつ、英語を話す力とスピーチの仕方を学ぶことにも余念がありません。最終的に、20ページにも及ぶ英語での卒業論文作成に励み、ゼミで学んだスピーチ力を活かして英語で発表します。

卒業論文作成のためには、かなりの量の作品を読まなければならぬため、リーディング力が必要となります



がゼミの雰囲気はとても明るく、楽しいので、アメリカに興味がある人なら自然と大変さを感じなくなりますよ！

身近な問題を題材に

山口 裕司ゼミ [政治学演習]

政治学と聞くと少し難しそうだとか、硬いイメージがあります。しかし私たちの卒論のテーマは、環境問題、男女共同参画社会、地域活性化など、身近な問題を題材にしたものが多いです。

今の社会と自分たちの思い描く将来の社会とを照らし合わせ、現在の社会問題を改善するための政治的対策を模索しています。

ゼミでは卒論のテーマを自分で決め、それについて報告します。報告の回数は多くないので、焦らずにじっくりと調べていくことができます。

ゼミの仲間はとても仲がよく、授業中はとても賑やかです。先生はそんな私たちを暖かく見守ってくださるので、先生に対しても話しやすい雰囲気があります。

私たちは政治学演習を通じて、政治というものを身近に感じ、私たちの政治社会をよりよいものにしていければと考えています。



福祉と情報に関連した研究を

金子 正光ゼミ [情報科学演習]



私たち情報科学演習では、将来の超高齢化に関連して、「福祉と情報」に関連した研究を行っています。近年は、コンピュータが著しく普及し、情報化が急速に進展している一方で、高齢化も進み、そこに「情報格差」が生じています。私たちは、高齢者などの情報弱者のために、情報のユビーサル化を目標に研究に取り組んでいます。そのため、高齢者のためのインターネット体験講習会を催しパソコンを指導するという、情報ボランティア活動も活発に行っています。

お年寄りにパソコンを指導することは、自分たちで分かりやすいテキストを作り、初心者向けの指導を心がけていても、そう簡単にはいきません。「カタカナは覚えにくい」とおっしゃる方も多いです。それでも、初めてパソコンに触れた方がすごく喜んでくださって、「これからもパソコンを使ってみよう」と言わされたときは、とても嬉しいですし、ときには私たちの方がお年寄りのパワーに圧倒されることもあります。このように情報科学演習では研究をしつつ、地域貢献もしています。

容が特徴です！

私たちのゼミ紹介します ⑯

また人間は、自分の得意な仕事を… (P.F.Drucker)

加藤 厚ゼミ [教育心理学演習]

1. 目標：“3タ”な研究 (1)
 2. 方針：“学而不思則罔 思而不學則殆” (2)
 3. 方法：“The Proof of the pudding is ...” (3)
- ※ (1) 3タ：していてタのしく、自信がタまり、人や社会のタめになる。
- (2) 論語（為政）：罔=見とおしが利かない・殆=偏る
- (3) より正確には「論を尽くした上で」ですが…。
自分で選んだ、「正答」の無い“問題”に取り組むのが大学のゼミの課題です。Baconさんの “Reading makes a full man, conference a ready man, and writing an exact man.” に加えて、調査や実験などによる実証的 (positive) な資料の収集とその統計的な分析・呈示が期待されます。



学祭の頃には学生の調査も実施

下 絵津子ゼミ [言語習得と学習演習]

私たちのゼミは少人数ならではのアットホームな雰囲気で、それぞれが自由に意見を出し合い活動しています。

具体的に私たち「言語習得と学習」ゼミがどのようなことをしているかというと、「英語を第2言語として学習する人がどのようにして言語を習得し、学習環境においてどのような特徴を示すのか」について、教科書を中心に多くの研究者の研究を調べたりして勉強しています。自分たちが受けてきた英語教育が私たちに与える影響や問題点を知ることが出来、非常に興味深い内容です。

また、ゼミ生全員で学祭の時期に、2、3年生を対象とした「宮崎公立大学の英語教育に関する学生の意識」

ゼミの成果を凌雲祭で

竹野 茂ゼミ [オーラル・コミュニケーション演習]



私たちオーラル・コミュニケーション演習は、竹野先生のご指導の下、毎週楽しくゼミで勉強しています。演習Ⅲでは、まず、英語を身につける上で必要な「中間日本語」を学びます。「中間日本語」とは、外国語に移行可能な翻訳できる日本語のことです。また、新聞（英字新聞を含む）やコミュニケーションに関する本を読み、生徒一人一人が内容を要約・発表し、ディスカッションをするという時間もあります。この一年を通して、英語文化におけるスピーチやディベートの重要性を認識させ、英語で議論するための基礎的技術を学習し、実践していきます。演習Ⅳでは、演習Ⅲで学習したことを生かし、多数の英語文献、日本語文献を読み、日本語と英語で卒業論文を書きます。そのことにより、母語の重要性を認識できます。日ごろのゼミの学習の成果として、凌雲祭で3年生はディベートを、4年生は卒業論文の中間発表を行います。



についてのアンケート調査を行いました。これにより、大学の授業レベル、授業数への満足度やCALL室の利用状況などについての、学生の率直な意見を聞くことが出来ました。個人の活動では、3年の早い時期から卒論の研究テーマを決めて、着実に進めていっています。

[卒業式]



第8期生197名に卒業証書・学位記を授与

中庭で記念撮影をする第8期卒業生たち。

肌寒さの残る平成16年3月24日、本学講堂で第8回卒業式が行われた。開学10周年という記念の年の卒業生として公立大学を卒業したのは、第8期生197名。

本年度は、各教員がそれぞれ、担当するゼミで学んだ卒業生を紹介し、各ゼミの代表者が学長から卒業証書・学位記の授与を受けた。

学位記授与後の浜野学長の告辞では、「社会の一員として貢献度を高めるために、社会に出てからも、こつこつと自分を磨いて欲しい」と激励の言葉が卒業生へ送られた。続いて挨拶を行った公立大学事務組合管理者である津村宮崎市長は、「学生生活を通して得られたかけがえのない財産を十二分に活用し、素晴らしい人生を切り

開いていかれるものと期待し確信している」と述べた。

これを受けて、卒業生総代の南部みゆきさんが、「大学で学び得た成果を、社会において如何に発揮するかが、明日からの私たちの課題」と答辭を述べた。

さらに、卒業記念品贈呈実行委員会の米澤沙織さんが、卒業記念品目録を読み上げた。第8期生から卒業記念品としてイルミネーションが贈られ、今後凌雲祭等に役立てられる予定である。

なお、式終了後、晴天のもと講堂棟前庭で、卒業生、教職員一同で記念写真撮影が行われた。夜には、卒業生主催の祝賀会が行われ、4年間を共に過ごした友人や教職員との別れを惜しんだ。



人々のために働き、恩返しを

卒業行事等実行委員長 中竹 仁

みなさん、こんにちは。私は今、保険会社の営業として社会人一年目をスタートさせています。まだまだ学ぶことが多く、学生生活の何倍もの集中力と真剣さで日々を生き抜いています。

私が卒業式にあたって、非常に強く感じたことは、「感謝」がありました。私は母に女手ひとつで育てられ、決して楽ではない生活の中、高校を無事卒業させて貰い、さらにこの宮崎公立大学まで卒業させて貰いました。今でも忘れられないのが、推薦入試の合格発表の文書が家に届き、「合格」の二文字を母と見た時、母が号泣してくれたこと、この出来事は今でも、いや、今だからこそ忘れられません。

今の私は、まず母なしでは有り得なかつただろうと思います。母のお陰でいい思い出を作り、様々な事を経験し、先輩・後輩や友人と出会えた、と思っています。今後は社会人として、できる限りの方達と接し、多くの事を吸収しながら何かしらのお手伝いをしていけたら、と考えています。今、母は十分に充実した生活を送っていますが、必ずや立派な恩返しをしたいと考えています。出来る限り多くの方々のために働き、そんな後姿を見て貰うことにより恩返しをしていきたい、と考えています。



夜は卒業記念祝賀会も。



卒業式で告辞を述べる浜野学長。



答辞を述べる総代の南部みゆきさん。

Waikato大学で学んだこと

ワイカト大学留学 村上 綾子

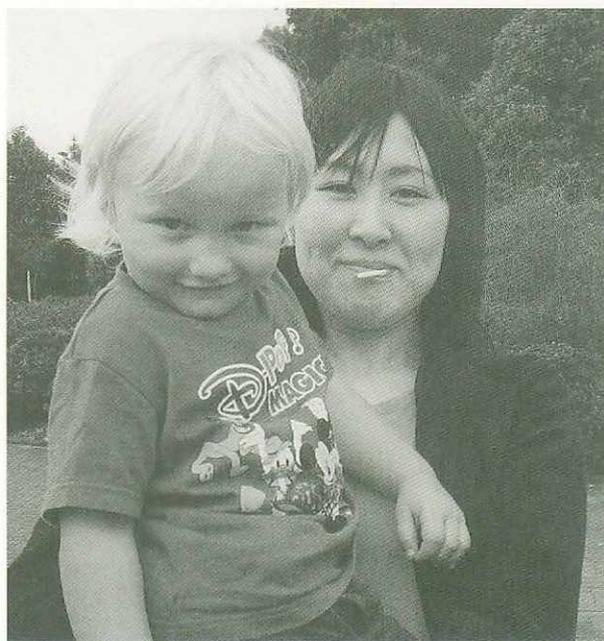
私がNZで直面した1番の困難はコミュニケーションでした。1年前の英国の語学学校でnonnative English speakersと学ぶことに比べ、寮生活をしながら大学でnativeの人たちと勉強をするのとでは、大変大きな違いがあったのです。寮では集団生活をよりよくするために自分の意見をはつきり言うことが度々求められ、日本語を勉強している人や日本文化に興味のある人たちからは大変多くの質問を受けました。また大学の授業においては、Tutorialという少人数のクラスで日本の文化や教育についてなど様々な意見を述べなければなりませんでした。

17歳のNZ人から難民でNZに来た45歳のイラン人のお母さん、75歳の日本人のおばあちゃんや学生の年齢層や育った背景が全く違うのでコミュニケーションが非常に大切な役割を果たします。時には日本人同士なら言わなくても伝わることが、相手が外国人となると口に出して言わなければ分かってもらえないのです。そういった環境の中で、日本では学べない本当に多くのことを学ぶことができました。留学する前は教員採用試験や資格試験の勉強ばかりしていたのですが、本当に大切なことは自分の意見や日本のこと表現できる英語力だということに改めて気づきました。もし、これから外国で勉強をしたいと思う方がいたら、大学への留学を勧めます。そして、コミュニケーションが取れる英語力を身につけ、日本人としての誇りを持って行ってもらいたいです。



広大な自然の中での一年間

ワイカト大学留学 那須 智子



ニュージーランドの土を初めて踏んだのは、まだ暑い夏の終わりの2月下旬でした。乗り込んだシャトルバスから見えたのは広大な緑と沢山の馬や牛、そして大きく広がる青い空だったことを鮮明に覚えています。私は、その日から念願のワイカト大学での交換留学生活をスタートさせました。

大学では好きな授業を履修し、毎日レクチャー、チュートリアル、レポートそしてテストに追われる日々で、ホームステイ先に帰っても部屋で常に何かの作業に取り組んでいるという状態が続きました。始めの内は、できない自分が悔しく感じられました。しかし、時が経つにつれてその生活に慣れ、ホストファミリーや友人ととの交流も楽しめるようになりました。

最後の試験が終了した後は、ホストファミリーと別荘に宿泊したり、一人旅をしたり、友人と遊んだり、本を読んだりとのんびり過ごすことができました。その後帰国したわけですが、その一年間の経験や思い出は、今の私に大きなことをやり遂げた達成感や物事に挑戦する勇気、との出会いやコミュニケーションを大切にする姿勢を与えてくれています。

私はこの交換留学を多くの人に支えてもらい、達成することができました。宮崎公立大学からは授業料免除や生活費、そして渡航費までもらい、また家族や先生、そして友人からは多くの励ましの言葉をもらいました。私はそれらに心から感謝しています。この留学経験を私のこれから的人生に活かしていきたいと思います。

「新しい関係」を

蔚山大学校留学 加藤 総子

「お前たちは新しい関係を築いておくれ。」帰国の前日、智賢（ジヒョン）のアボジ（お父さん）にそう言われた。

韓国での最初の半年間、私は寄宿舎の4人部屋にいた。留学前に一番心配していたのが、寄宿舎での生活だったが、韓国人はみな情に厚く、慣れないことだらけの私をいつも気遣ってくれた。私たち4人はとても気が合ったので、新しい寄宿舎に移るまでずっと一緒に部屋で暮らした。そのときのルームメートの一人が智賢だった。

帰国の前日、智賢の家に泊まりに行った。行く途中で買った『ホットク』を食べながら智賢の家族とたわいもない話をしていると、アボジが突然「総子、おじさんに一言、言わせておくれ。」と切り出した。「お前も知っているだろうけど、私たちの世代は日本人を恨んできた。そして日本人は韓国人を見下してきた。けれど、もう時代は変わった。お前たちには新しい関係を築いてほしい。お前たちは新しい世代なのだから。」温かい声でアボジはそう言った。「ここは韓國のお前の家なのだから、いつでも好きなときに遊びにおいで。」帰国の朝、智賢のオモニ（お母さん）がそう言ってくださった。「帰る場所があるんだな。」そう思えて、何だかとても温かい気持ちになった。

私たちは新しい関係を築いてゆけるだろうか？表面的なものではなく真心から。400年前以上から私たちの祖先が朝鮮半島に対してしてきたことを考えると、そう簡単にはいかないかもしれない。しかし、築いていかなければならぬ。私たちは新しい世代なのだから。



日本人の顔をした韓国人

蔚山大学校留学 山口 愛弓



出発する前までの私の韓国語の実力は、試験にはパスしたもの無いに等しかった。しかし私は脳天気に出発までを過ごした。初めての留学・一人暮らし、韓国料理食べ放題、格安ショッピングなどという単語に胸を躍らせながら。しかし、出発当日からそれは全て不安に変わった。空港に見送りに来てくれた親友や家族との別れ、全く聞き取れないなまつた韓国語。最初の頃は、毎日どこに行くのにも重い辞書を持ち歩き、何か言われる度に引き、それをメモ帳に書き写し覚えるという作業の繰り返しだった。話せない自分に腹が立ち、泣いたこともあったが、やっているうちに「どうせやるなら楽しもう。韓国まで来たのだから日本に居るときと同じことをしていたらもったいない。」と思い始めた。

お酒を飲んでいても、どんなにつまらない冗談も方言も全て書き写した。たくさんの韓国映画を見てその言い方を研究したり、Kポップを毎日聴き、歌詞を覚えカラオケで歌えるようにもした。すると、半年を過ぎた頃から友達が「お前は日本人っぽい顔してるけど 中身は韓国人そのものだ。」と言ってくれるようになった。嬉しかった。自分が認められるというこの幸せ。蔚山大学校に留学をしていなければ一生味わえなかつた。これは私の一生の宝だ。最後になったが、私に留学の機会を与えてくださった公立大学の先生・事務の方々、韓文研の皆さん、歴代の先輩方、そして家族に感謝したいと思う。ありがとうございました。

●平成16年度交換留学生 —————

●ワイカト大学へ

●蔚山大学校へ



谷口 正春
(たにぐち まさはる)



木切倉 徳子
(ききりくら のりこ)

事務局だより

○教員人事

●新任

平成16年4月1日付けで、野中博史教授、有馬晋作助教授、永松敦助教授、森部陽一郎講師が着任されました。

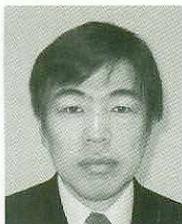
氏名	担当科目
野 中 博 史	ジャーナリズム論
有 馬 晋 作	行政論
永 松 敦	民俗学
森部陽一郎	インターネット論



野中博史 教授



有馬晋作 助教授



永松敦 助教授



森部陽一郎 講師

○職員人事

平成16年4月1日付で総務課では寺
蘭裕補佐、宮本真理係長、川平海樹主査、
萩田治美主任主事が転出されました。
学生課では、園田真吾補佐、田吹辰雄
主幹、太田祥子主事が転出されました。

また、総務課原田公之主任主事が主
査に、横山弘子主事が主任主事に、長
友飛鳥主事補が主事に、学生課松石博
主事が主任主事に昇任されました。

後任ならびに配置は下記のとおりです。

(敬称略)

総務課課長補佐	原 芳輝
財務係長	永井 裕子
総務課主任主事	小川 真一
総務課主任主事	木下 直子
学生課課長補佐	田代 正敏
学生課主幹	安樂 和寿
学生課主任主事	塙月 彩

○平成16年度(上半期)主な行事予定

4月 6日	入学式
8日	前期授業開始
5月14日	スポーツ・ディ
6月 1日	開学記念日
7月21日	前期定期試験開始
7月29日	夏季休業開始
7月30日	キャンパスガイド

○花の女王に原田さん

「みやざき花の女王」に本学の原田
沙友里さんが選ばれました。

○英検成績優秀賞に川野辺さん

日本英語検定協会が行う、平成15
年度英語検定試験の成績優秀者選考会
において、本学の川野辺晶子さんが英
検準1級優秀賞に選ばれました。

保健室から

五月病はご存知のとおり広く知られ
た言葉です。五月病とは、大学入学後
の学生が、5月の連休後くらいからう
つ病の気分になりなんとなく気が減入つ
て勉強に身が入らない、集中出来ない
など無気力な状態になることをいいます。
新しい環境での生活というものは、
身体や心に著しい変化を与えます。新
しい環境に適応できず、焦りがスト
レスになりなんとかしようと思うほど
深みにはまってしまいます。五月病の
症状としては、やる気が出ない、なん
となく気持ちが落ち込む、イライラ感、
おっくうになる、不安感、不眠、疲労
感、頭痛、下痢、などがあげられます。
必ずしも皆にこの様な症状が出るわけ
ではなく、個々の性格も重要な因子と
なります。同様のストレスがかかって
も、それが非常に負担になる人とうま
く乗り越える人がいます。スポーツや
音楽鑑賞、読書など自分に合ったスト
レス解消法を見つけて大学生活をエンジ
ヨイしましょう。

図書館から

図書館システムが新しくなりました。
図書のリクエスト方法が従来の専用申
請書に代わり、WEB上で申請できる
ようになりました。図書館利用ID（学
生証の裏の番号）とパスワードで各自
のリクエスト図書の納品状況もわかり
ます。WEB上で貸出予約をすることも可
能です。さらに、朝日新聞、毎日新聞の
記事データベースにアクセスして自由に
記事を閲覧できます。さあ！図書館ホーム
ページにアクセスしてみませんか。

<http://www.miyazaki-mu.ac.jp/mmum/library/>

学生相談室から

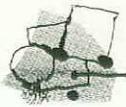
「かなえたい夢」

人生にはいろんなことがある。いい
こともあれば悪いこともある。様々で
すね。

夢は目前の山のようなものだと思いま

本学教員の著書紹介(平成15年4月~平成16年3月寄贈分、寄贈日順、敬称略)

著 書 名	書 名	出 版 社 (出版年)
田中 薫ほか	コミュニケーション学入門: 進路とキャリア設計のために	NTT出版 2003
奥野 正男ほか	邪馬台国 78号	梓書院 2003
奥野 正男ほか	邪馬台国 79号	梓書院 2003
金子 正光	エクセルソフトを用いた情報処理演習	開成出版 2003
金子 正光	諸語假名ためインターネット調査報告書1~5	開成出版 2003
中別府 温和	「宮崎県人中南米移住史 調査報告書1~5」	1997
中別府 温和	「宮崎県人中南米移住史 調査報告書1~5」	1998
中別府 温和	「宮崎県人中南米移住史 調査報告書1~5」	2001
中別府 温和	「宮崎県人中南米移住史 調査報告書1~5」	2002
田中 薫	書籍と紙~出版文化を支えるもう一つの側面を考える~	書肆録人館 2003
田中 薫	出版される前に:自分の本を作りたいあなたへのアドバイス	沖縄舎 2003
倉 真一 編集代表	Others-1990年代日本にみる(他者)の諸相-	宮崎公立大学社会学セミナー 2002
広瀬 訓ほか	現代国際法と国連・人権・裁判:波多野里望先生古稀記念論文集	国際書院 2003
金子 正光ほか	High voltage engineering: Proceedings of the Xiiith International Symposium on High Voltage Engineering [Learner and teacher autonomy in Japan II]Autonomy you ask!	Millpress Science 2003
ヒュー・ニコル 下藤詩ほか	Japan Association for Language Teaching 2003	
玉木 徹志ほか	新マーケティング情報論	
内崎善兵衛ほか	宮崎の四季と気象:地域環境科学へのいざない	ナカニシヤ出版 2003
金子 正光	高齢者・障害者のためのインターネット体験講習	鈴出版社 2003
		2004



す。晴天の時は自分の夢がよく見えるし、頂上に雲がかかっている時はそこに夢があるかどうかもわからずに不安になります。

しかし、山は見えても見えなくとも存在はしています。

自分が目指す夢が実現できるかどうかは、実は自分がその山(夢)を信じられるかどうかにかかっていると思います。

夢をかなえるために何が必要なのか?

それをみんなが最初から知っているわけではなく、夢に向かって歩き出してみて、体験してみて、初めて知っていくものでしょう。

夢、やりたいことに出会うことは、新しい自分との出会いです。なんて素晴らしいことでしょう。もちろん、まだ夢にたどり着いているわけではないけれど、夢に向かって歩いている幸せがあります。夢を目指した時から夢はもう始まっているのです。

エベレストの頂上も、

先ず一步から!!!コツコツと!

(「かなえたい夢」吉元由美著参照)

10周年記念事業について 「凌雲」「地域に根ざして」完成!

宮崎公立大学開学10周年記念誌「凌雲」、宮崎公立大学10周年記念論文集「地域に根ざして」が完成しました。発行までの道のりは約2年。開学10周年記念誌は、巻頭カラー約30ページやO B・O Gコーナーを設けるなど、総頁数は304頁。

記念誌の類ではほかに例を見ない親しみやすい構成となっています。本学図書館で閲覧できますので、是非手にとってご覧ください。

「凌雲」は非売品。「地域に根ざして」は書店にて販売中。(価格3,500円)



平成16年度宮崎学術振興財団助成金申請一覧

1 学術研究促進事業

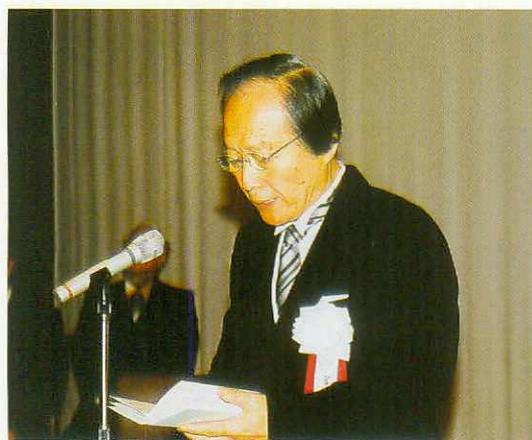
No.	氏名	職名	研究課題
1	長友 武	教 授	宮崎県の偉人研究－高木兼寛、安井息軒－
2	マリリン ブックス	教 授	卒業論文作成の標準書式:第一章における重要点
3	曇 昭吉	教 授	地域経済の発展
4	ヒュー ニコル	教 授	講義授業における学習者自律の促進
5	中山 本文	教 授	The RainbowとWomen in Loveの研究
6	王 智新	教 授	比較教育研究の歴史と現状について —今日における比較教育研究の意義を問い合わせ直す
7	山口 裕司	教 授	エコ・フェミニズムに関する政治学的研究(3)
8	宮元 章次	教 授	本学学生の体格・体力に関する縦断的調査について
9	田中 宏明	教 授	グローバリゼーションと反グローバリゼーション —グローバル市民社会との関係から—
10	戸高 裕一	教 授	宮崎公立大学生のための英語発音指導書の作成
11	竹野 茂	助教授	宮崎公立大学におけるWeblogを利用した英作文指導の実践
12	大賀 郁夫	助教授	宮崎県内地域における「伝説」に関する歴史学的研究 —「鶴富姫伝説」と「百濟王伝説」を中心に—
13	新井 克弥	助教授	メディア化に伴う若者の情報行動と自我の変容
14	福田 稔	助教授	宮崎市と周辺6町の小学校における宮崎方言教育の実践と 実態調査
15	田宮 昌子	助教授	悲憤慷慨の系譜－中国文化史上における屈原像の史的変遷
16	広瀬 訓	助教授	変動期の国際社会における法と秩序について－新しい安全保障観と多国間協力による非軍事的安全保障制度の構築に向けて
17	李 善愛	助教授	宮崎地域の海と河沿いにおける民俗と信仰に関する比較民俗学的研究:韓国との比較をとおして(2)
18	倉 真一	助教授	出入国管理政策の転換点としての1990年代中期の言説分析
19	四方 由美	助教授	メディアはどうやってジェンダーを構築するのか —理論的枠組みの構築に向けての試み(2)
20	下 絹津子	講 師	言語教育における協力活動の効果1)英語の授業における協力活動についての 学生の認識とその効果2)ポートフォリオの考察－協力的活動の視点から

2 地域間交流事業

No.	氏名	職名	研究課題
1	金子 正光	教 授	宮崎東諸県広域市町村圏域の高齢者・障害者に対する情報ボランティアの支援活動に関する調査研究
2	辻 利則	助教授	地域参加型情報ボランティア活動教育支援システムの構築とその評価に関する研究



期待に胸をはずませ入学式に臨む新入生たち。



式辞を述べる浜野学長。



挨拶する津村宮崎市長。



誓いの言葉を述べる後藤慎市郎さん。

桜の花が舞う4月6日、第12期生220名が入学

浜野学長が、「大学では積極的な取り組みが強く求められていることを肝に命じていただきたい。」と式辞を述べ、管理者の津村宮崎市長は、「自分を取り巻く環境の変化を的確に捉え、自分なりの意見を持てる力を身に付けてください。」と挨拶。新入生代表の後藤慎市郎さんは、感性豊かな教養人を目指していくことを誓った。



さっそくクラブ、サークルの勧誘が。

宮崎公立大学
MMUニュース・レター
第20号・夏

平成16年6月
発行 宮崎公立大学
編集発行人 田中 薫
〒880-8520 宮崎市船塚1-1-2
TEL 0985-20-2000
URL <http://www.miyazaki-mu.ac.jp>
